



ロータリーの
マジック

2024-25 年度 RI テーマ

THE MAGIC OF ROTARY

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2024-25 年度
会長：漆畑雄一郎 副会長：鈴木寿幸 幹事：中山恵喜 副幹事：加藤智之

例会 第 1576 回 通常例会/小杉苑

ソング：それこそロータリー、きよしこの夜 **ソングリーダー：秋谷貴也君**

会長挨拶 漆畑雄一郎君



早いもので、来週は年忘れ夜間例会ですので、令和六年の通常例会は本日で最後となります。さて、皆さんは様々な団体に属していらっしゃると思います。このロータリークラブや商工会議所などの他に同業種で構成される組合や協会などがある場合そちらにも加入されていることでしょう。こういった団体や組合に属していると、必ず発生するのが年会費です。

私は仕事上、宅建協会・行政書士会・土地家屋調査士の三つの団体に加入していますが、当然にそれぞれに年会費を納めています。また、私どもの南クラブの年会費は 23 万円で第四グループの中でも廉価な方です。昨今の物価の値上がりや円安によってなかなか苦しいクラブ運営が続いていることは、年度初めより何度か報告させていただいていますが、来月の中間決算後に皆さんのご協力を得なければならなくなる事態が生じましたら、是非ともご理解をお願いいたします。

12/21 は冬至です。一年でもっとも昼が短く、夜が長い頃。寒さを乗りきるために、栄養価の高いかぼちゃを食べ、柚子湯に浸かり無病息災を願

います。靱草（うつぼぐさ）や麦の芽が出はじめるのもこの時期で、雪の下であたたかな春をじっと待ちます。

七十二候は乃東生（なつかれくさしょうず）、麋角解（さわしかつのおつる）、雪下出麦（ゆきくだりてむぎのびる）です。

出席報告 森下傑君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
40/51 78.43%	43/51 84.31%

(1) 欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

- 阿井君 ○数野君 ○川口君 ○小嶋君 ○鈴木寿君
- 平原君 ○増田君 ○村松君 ○森竹君 ○若林君
- 渡邊芳君

(1) メイクアップ者

阿井誠君（静岡） 森竹正晃君（静岡）

食事準備数	食事提供数	残	累計残
42	42	0	15

パーフェクト例会数：😊😊😊😊😊😊😊😊
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

スマイルBOX 森下傑君

- ・30 年以上皆出席表彰ありがとうございました
高杉光洋君

・高杉さん、33年6か月の長きに渡り、「ありがとうございました」12月31日をもってのご卒業ですが、本日がラストランですね。これまでの皆出席に敬意を表しますとともに、ご経歴をまとめさせていただきました。これからも健康にはご留意いただき、人生をエンジョイなさってください！

中山恵喜君

スマイル累計額 430,890円

■ 会員卓話



鈴木照竟君

★成田山新勝寺
名称 真言宗智山派大本山成田山金剛王院神護新勝寺
本尊 不動明王
嵯峨天皇の勅願により弘法大師敬刻
開眼

境内 220,000 m²(東京ドームの4,5倍程)
智山派関東三山 川崎大師平間寺 高尾山薬王院
成田山の別院 8か寺、分院末寺末教会 63か寺、
合計 71か寺
成田山のあゆみ
歴史区分 ①草創期黎明期 ②発展期 ③近現代
① 草創期 開山から16世紀なかば平安・鎌倉・
室町・江戸前期
創建 天慶3年(940)平将門の乱平定
近隣農村部の信仰者 封建領主(佐倉藩主・寺
台城主)の帰依
② 発展期 「不動尊信仰の民衆化」に寄与
(1) 江戸中後期～ 江戸進出の成功 江戸庶民の
信仰と遊興
◎江戸出開帳 開創ご縁起、不動尊ご霊得を広め
る→不動信仰の普及に尽力
第1回出開帳(元禄16年1703) 江戸深川(新興の
歓楽街) 期間 60日 以後、江戸時代150年間に
11回の出開帳を行う
◎市川団十郎 子宝参籠 一子 九蔵を授かる 荒
事創始 ならみ 不動の目
成田不動を劇化「兵(つわもの)根元(もと)曾我(そ
が)曾我狂言 江戸中の人気をさらう 御礼参り
出開帳の宣伝「成田山分身不動」
江戸出開帳の成功と団十郎の活躍により、成田不
動の評判が江戸から各地に広がっていった。

⇒成田詣でが盛んになった。

七代目団十郎の登場「市川家歌舞伎十八番」再度
の出開帳の成功

天保の大飢饉 天保の改革 芝居小屋の強制移転、
団十郎の江戸追放

新勝寺に身を置き、成田屋七左衛門と称し自身が
奉納した額堂を接待所にして参詣者をもてなし
た。

◎成田詣で江戸から16里 格好の物見雄山 小旅
行 リクリエーション

江戸時代の第2次発展期⇒講社や団体での成田詣
で⇒門前町の発展

江戸から主な参詣道 佐倉街道(成田道) 三泊四日
コース

初日 朝:出発 深川から江戸川を上って行徳(市
川) 陸路で船橋 1泊

二日目 佐倉街道を進み、夕刻成田着

三日目 早朝の朝護摩参拝 帰路:佐倉街道で船
橋へ 1泊(精進落とし)

四日目 船橋から帰宅

◎講社 第1回出開帳(1703)の頃 30講社

1800年頃 40講社

天保～安政(1830～1860)の30年間に210講が

創設 江戸の他 上総 下総 安房 常陸 武蔵

下野(しもつけ) 上野(こうずけ) 甲斐 伊豆 遠江
信濃の関八州、東海、甲信に創設

(2) 明治 大正 昭和(戦前) 交通の発達 戦争
地域の福祉や文化貢献

○廃仏毀釈 新政府の神道国教化政策 新勝寺は
大きな痛手無し

神社から仏教的要素を一層神宮寺、別当寺を廃止
寺院を廃し又は規模縮小 御堂や仏像の取り壊し
社寺領の「上知令」経済的基盤を奪われる 廃寺、
整理統合で空き寺

○明治天皇の行幸

明治14年・15年二度にわたり下総に行幸 新勝
寺奥殿が行在所に・・・

これを機に皇族や政治家の参詣が相次ぐ⇒新聞
報道で全国にその名を知られる。

○鉄道の開通

大幅な時間短縮・大量運搬⇒日帰り、一泊二日の
信仰参拝 30以上の旅館

明治16年 東京～成田間 乗合馬車が開通(鉄
道開通後消滅)

明治27年 総武鉄道開通 東京(本所錦糸町)
～佐倉

明治30年 成田鉄道(改称)佐倉～成田 開通

東京～成田 全通

明治34年 成田～我孫子開通 日本鉄道(国鉄)
に接続 上野～成田間接続

昭和元年 押上～成田間 京成電鉄開通

○出征兵士の安全祈願 日清、日露から太平洋戦争まで

連日「皇軍戦勝祈願」大護摩を修し、戦勝祈願
武運長久の参拝者が急増

出征者に「身代り御守」を持たせ、無事を祈った
事で成田山が全国区になった

○各地に教会所や末寺を創建

成田不動信仰は関東から東海、東北、北海道に広がる

幕末 深川 川越 明治初期 横浜 藤枝 高崎
岡崎 明治中後期 札幌 函館 小樽 登別
前橋 石巻 八王子 昭和 寝屋川 犬山 三国

③ 近現代(戦後) 車社会 空港開港⇒高速道路、
高速鉄道の整備

モータリゼーション⇒交通安全祈願の普及

私鉄が自路線の沿線に別院誘致 京阪電鉄 名古屋
屋電鉄

空港開港による高速道路、高速鉄道の整備 旅館の
衰退

国際都市、観光都市化による個人参拝 外国人
観光 団体参拝の衰退

成田山の特色と社会事業

○門前町との共存共栄

維新前の慶応2年の記録によれば 寺僧10名
使用人20名

講社の団体参拝の時には町民や農民に手伝ってもら
う

坊入(精進料理ご接待)のみで 宿坊を設けず旅館(旅籠)

江戸時代、砂糖は貴重品「大浦ごぼう」を甘く煮
付ける

旅の疲れをいやす御下がりのお神酒をいただく
⇒大人気になった

○山内の封建制度

廃藩により旧佐倉藩の藩士30名が身を寄せて寺
務員 自ら「新勝寺家来」

組織、制度が曖昧だった寺内に旧藩の秩序、制度
を導入

お寺の運営は町人のお手伝いから旧藩士を中心
とする俗人 ⇔ 役僧

貫首(住職)を藩主になぞらえ「御前様」と称する
様になる

○歴代の本堂が現存

明暦元年(1655) 現:薬師堂 市指定文化財

元禄14年(1701) 現:光明堂 国重要文化財 婦
人毛髪

安政5年(1858) 現:釈迦堂 国重要文化財
昭和43年(1968) 大本堂 296 畳敷

重要文化財 他に「三重塔」「仁王門」第二「額堂」
七代目団十郎寄進の「第一額堂」は昭和40年消
失

○現在の社会事業

歴代貫首の「浄財は浄所に」の方針に基づき3法
人を運営

教育財団 成田高等学校/附属中学校/附属小学校
なりた幼稚園 はばたん幼稚園

文化財団 仏教図書館 霊光館(歴史博物館)
書道美術館

福祉財団 成田学園(児童福祉施設)

○矯正保護活動 受刑者の救済と犯罪防止活動
に寄与

明治30年千葉県帰性会(きせいかい)を設立 刑
務所を出所後に引き取り手の無い受刑者のため、
宿舎や職業の仲介など社会復帰をサポート

明治41年千葉感化院(非行少年の訓育補導施設)
を成田に移転し、成田山感化院とする 昭和3年
成田学園と改称し、現在は児童養護施設となった
教誨師 千葉刑務所 市原刑務所 八街少年院
保護司 成田地区

○成田山公園

現在の敷地面積 16万5,000㎡(東京ドーム約3.5
個) 大本堂の裏手に広がる

平和の大塔、霊光館、書道美術館、茶室が公園に
隣接

句碑、雄飛の滝や放生池に浮御堂などの見どころ
多数

明治10年 成田山花園を開設 本堂裏の平地に
草花を植え、池を造る

明治20年 花園拡張 約7500坪

大正8年 近代的公園の開設を目指し、造営を開
始(日比谷公園を参考)

昭和3年 成田山公園竣工 46,988坪にわたる
広大な公園が完成

三つの池、落差20mの滝、ベルサイユ宮殿の庭園
を模した西洋庭園を設ける

平成10年大改修 春に梅まつり 秋に紅葉まつり
を毎年開催

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
12/20(金) 第 1577 回	夜間例会	小杉苑
1/3(金) 第 1578 回	早朝例会	
1/8(水) 第 1579 回	新年賀詞交歓会	小杉苑
1/17(金) 第 1580 回	会員卓話	理事会



主な御経歴

◇入会日：1991（平成3）年6月24日
◇第13代（2003-04年度）藤枝南ロータリークラブ会長

- ◇会場監督 (1996-97年度) 寺島 弘会長年度
- ◇ガバナー補佐事務局長 (1998-99年度) 岡村隆夫会長年度・石川清分区代理
- ◇10周年事業実行委員長 (2000-01年度) 朝比奈潔会長年度
- ◇会計 (2001-02年度) 小林正敏会長年度
- ◇副会長 (2002-03年度) 小山明良会長年度
- ◇直前会長 (2004-05年度) 渡辺哲朗会長年度
- ◇会場監督 (2006-07年度) 伊藤恒夫会長年度
- ◇ガバナー補佐事務局長 (2007-08年度) 佐野芳正会長年度・富澤静雄分区代理
- ◇財団・米山委員長 (2008-09年度) 稲葉俊英会長年度
- ◇会場監督 (2009-10年度) 池ヶ谷勇会長年度
- ◇クラブ運営・親睦委員長 (2012-13年度) 村松章隆会長年度
- ◇25周年事業実行委員長 (2015-16年度) 内山淑夫会長年度
- ◇地区会員増強維持委員長 (2017-18年度) 江崎直利会長年度・村松友吉ガバナー
- ◇奉仕プロジェクト委員長 (2019-20年度) 渡邊芳隆会長年度

今週の一言

古川賢吾君



私の行ったところは、行きたいところは今から約30年前の大学3年の夏休みに友人と2名でバック

パッカーとして行ったスペインです。当時を思い出すために江崎書店さんで地球の歩き方を買ってきました。当時は、空路ロンドンで乗り換えして、スペイン東部のバルセロナに入り、サラゴサ、中央部マドリード、南下してトレド、グラナダ、セビージャを経て国境を越えポルトガルに入りリスボン 計7都市を各5～6日滞在し1ヶ月ちょっと旅をして日本に戻りました。死ぬまでにまた行ってみたいと思いました。特にグラナダのアルハンブラ宮殿にはもう一度行きたいです。



(担当/鈴木照竟君)